

●この塗料は、水を加えてかきまぜられるよう、多少大きめにつくってあります。
●表示している色、ツヤおよび容器の中の色は、乾いてからの塗料の色と、多少異なることがあります。



ツヤあり

※ツヤ消し色は落ちついたツヤ消しに仕上がります。

無臭

塗りにくいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

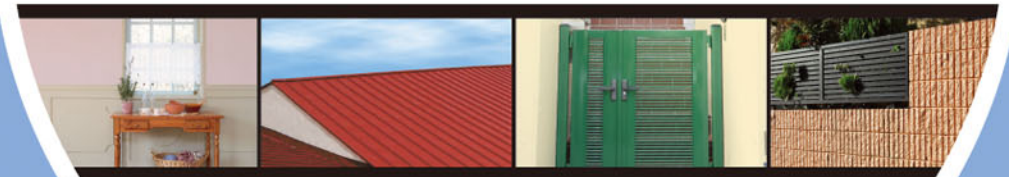
(社)日本塗料工業会登録
登録番号 A02134
ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆
問合せ先 <http://www.toryo.or.jp>
建築基準法で定められたホルムアルデヒドの放散量が最も少ない区分で、居室内に無制限に塗装できます。

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は使用していません。

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

水性 多用途カラー

シリコンアクリル 樹脂配合



【用途】 ●カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦 ●トタン
●コンクリート・モルタル・ブロックなどの壁やへい
●台所・居間などの壁や天井 ●雨戸・羽目板などの木部
●門扉・フェンスなどの鉄部 ●サイディング
●プラスチック(一部除く)

防カビ剤配合
サビドメ剤配合

1回塗り
1.6L

標準塗り面積 (1回塗り)
11~15㎡ タタミ6~9枚分
乾燥時間
夏期 / 30分~1時間 冬期 / 2~3時間
塗り重ね時間の目安
夏期 / 2時間以上 冬期 / 6時間以上

商品名	水性多用途カラー	品名	合成樹脂塗料(水系)
成分	合成樹脂(シリコンアクリル)、顔料(クリヤは除く)、防カビ剤、サビドメ剤、水		
特長	●汚れにくく、耐久性が優れた高性能塗料です。 ●強力防カビ剤を配合していますので、長期間カビの発生を防ぎます。 ●サビドメ剤を配合していますので、サビの発生を防ぎます。 ●いやな臭いのしない無臭タイプで、1回塗りで仕上がります。 ●厚塗りしてもタレにくく、たいへん塗りやすい塗料です。		

- 用 途**
- カラーベスト・スレート瓦・セメント瓦・トタン屋根・トタンべい
 - コンクリート・ブロック・各種サイディングなどの外壁やへい
 - ドア・雨戸・ガーデン用品など屋内外の木部や家具・木工品などの木製品
 - フェンス・門扉・鉄柵・看板・おもちゃなどの鉄部、鉄製品
 - 台所・居間などのしっくい・モルタル・コンクリート壁・板壁
 - 発泡スチロール・アクリル・硬質塩ビのプラスチック面(他のプラスチック面には使用できません)

いびし瓦・釉薬瓦・モニエル瓦、カベ紙、絶えず水がかかったり、水につかるところ、いつも濡れているところ、また床面、テーブル・カウンターの天面には適しません。

- 塗装方法**
- はがれがかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●塗る面のゴミや汚れを取り、カビはカビトリ剤で、油分はペイントうすめ液で拭いてよく落とします。
●壁にあいた穴などは、あらかじめパテなどで補修しておきます。
 - 塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいします。
 - フレ・ハガリ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
 - フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
●夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しずつうすめて調整します。
 - コーナや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
●広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- 用具の手入れ方法** 塗料が乾かないうちに、水が濁って洗って下さい。

応急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所ですぐ安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

取扱い上の注意

- ①表示の用途以外には使用しないで下さい。
- ②体調が悪い時、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ③目に入ったり皮膚に付着しないよう注意して取扱って下さい。付着したまま放置すると炎症を起こすことがあります。必ず保護手袋を着用して下さい。また、誤飲しないよう注意して下さい。
- ④塗装中・乾燥中ともに換気をよくし、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ⑤塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑥塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- ⑦塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑧濃い色の上や、凹凸の大きな面に塗る場合や、うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、1回塗りでは仕上がらないことがあります。
- ⑨特殊なサイディング、カラーベスト、コーキング材・シーリング材の中にはハジキが生じたり密着しないものがあります。目立たない部分で試し塗りをして、密着することを確認してから塗って下さい。
- ⑩コンクリート・モルタル・しっくいなどのアルカリ素材の上に塗ると、一時的に臭いが強くなる場合があります。
- ⑪塗り重ねるときは、夏期2時間以上、冬期6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- ⑫ペイントスプレーヤーを使用する場合は、空打ち状態にならないように注意して下さい。
- ⑬スレート瓦の重なり部が塗料で詰まった場合は、皮スキやカッターナイフなどで塗膜を縁切りして下さい。
- ⑭塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- ⑮高温になると塗膜がやわらかくなる傾向があります。また塗膜と塗膜・軟質塩化ビニール・レザー等が強い力で重なりあうと、くっつくことがあります。
- ⑯容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- ⑰やむをえず塗料を捨てるときは、水性塗料用固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑱落下させると中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

- ①フル・ハガリ防止のため以下の処理をして下さい。
- ②フル・ハガリ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
- ③フレ・ハガリ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
- ④フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
- ⑤塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
- ⑥夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しずつうすめて調整します。
- ⑦コーナや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
- ⑧広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
- ⑨マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

下地処理の注意

- ①フル・ハガリ防止のため以下の処理をして下さい。
- ②フル・ハガリ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
- ③フレ・ハガリ防止のため右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
- ④フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
- ⑤塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
- ⑥夏期、塗装面が高温となり、乾燥が速すぎて塗りにくい場合はさらに少しずつうすめて調整します。
- ⑦コーナや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。
- ⑧広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
- ⑨マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。

保管上の注意

- ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないよう注意して下さい。
- ②直射日光や火気のある場所、-5℃以下になるところ、自動車内などの高温になるところ、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切ってください。

危険

●遺伝性疾患のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見 4-1-12
<http://www.asahipen.jp>
 お客様相談室 ☎06-6934-0300

日本製
00-1202